

中小企業に知財戦略を

鯨島弁護士「下町ロケット」例に
大垣で講演

大垣西濃信用金庫の取引先などでつくる「だいしん経済クラブ」の経済講演会が20日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルであり、中小企業への知的財産戦略などに取り組む弁護士の鯨島正洋さんが講演した。

鯨島さんは、作家池井戸潤さん『八百津町』の文にあった規模の市場を選び、他社に参入

させない対策が必要」とした。

知財を活用して中小企業の融資の返済可能性を評価する知財金融についても説明し、「地

方の中小企業と金融機関が知財や特許に関心を示すようになってきた」と近年の新たな動きを指摘した。

(小田香緒里)



中小企業の知財戦略などを説いた鯨島正洋さん＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル